



2021 年度
第 10 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

1
防疫当局、
スポーツ大会・選手団
防疫管理を強化



2
スポーツ暴力の
終わり、本当に？



3
少年体育典、国体...
種目別開催に変えよう



4
アイスホッケー協会長
承認拒否
崔チョルウン当選者、
大韓体育会に法的対応

ファン・ヒ文体部長官
スポーツ倫理センター
に支援を約束



5
「生活体育活性化！」
大韓体育会、1日から
公共スポーツクラブ
公開募集

6
28カ国の
留学生 122人、
韓国で冬季スポーツの
夢広げる

01 イーデイリー 2021.04.02

防疫当局、スポーツ大会・選手団防疫管理を強化

防疫当局は最近、スポーツ選手団の集団感染などでスポーツ大会や選手団の防疫対応が必要として、これに対する管理を強化することにした。

中央災難安全対策本部では教育部と文化体育観光部から「スポーツ大会や選手団の防疫管理強化策」の報告を受け、このような方案を議論したと2日、明らかにした。

プロスポーツの場合は各種目別競技関連団体で大会、合宿、トレーニング全般のコロナ19防疫上の注意を設け、遵守してきている。

プロ野球開幕を迎え3日、蚕室で行われる開幕戦の現場防疫状況を点検し、継続的にリーグ戦と選手団運営全般について防疫状況を点検する予定だ。

アマチュアスポーツ大会については大韓体育会と種目別スポーツ団体が大会ごとに防疫指針を策定し、文体部と大韓体育会と一緒に防疫上の注意を確認する計画だ。学校運動部が参加する大会の場合、教育庁と学校が運動部の防疫状況を管理する。

体育団体などが主催するスポーツ大会期間に限り、参加選手団は部外者の出入りが制限されたレストランでの防疫上の注意遵守のもと、団体に食事が可能である。宿泊・移動などその他の活動は状況に応じて防疫上の注意を遵守する。

実業チーム、学校運動部などのアマチュア選手団の訓練と合宿にも実業チーム運営機関と教育委員会では、防疫上の注意を設け、履行状況を点検するなど防疫管理を強化する。

実業チームの場合、4月中にトレーニングと合宿所に対して文体部と大韓体育会が合同で点検し、学校運動部も市道教育庁で継続的に防疫上の注意を確認する予定である。

出典：<https://www.edaily.co.kr/news/read?newsId=02050006629012184&mediaCodeNo=257&OutLnkChk=Y>

02 国民体育振興公団 スポーツ懸案と診断 VOL.20 2021.3.25

スポーツ暴力の終わり、本当に？



ジョン・ヨン Chol 西江大学教授

有名な双子姉妹バレーボール選手発の「スポーツ学暴（学校暴力）」問題がいっこうに収まる気配がない。以前に暴力の加害者とされた前-現職選手たちの名前が増えるばかりで、種目もバレーボールから始まってサッカーと野球に広がってバスケットボールまで、いわゆる4大人気スポーツを網羅している。有望選手とベテランを問わず次々と加害者として名前があが

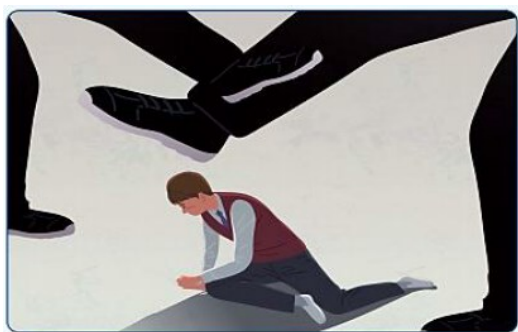
ってくる一連の事態を見守っている大衆は困惑している。自分が好きだった選手の学生時代の行動に衝撃を受け、どうしてそんなことをしたのかと憤慨しても、これまでスポーツ界で起きた同じような問題は

度や二度ではないのだから誰かがこんな事から解き放ってくれないかと選手を擁護する。相次ぐ扇情的な暴露と法廷攻防まで、一体この問題がどこまで行くのか見当もつかないほどだ。

スポーツ学暴？スポーツ暴力！

「スポーツ学暴」と「スポーツ暴力」、この二つの単語には違いがある。初めの問題に火をつけたのはいわゆる「学暴」という単語だった。すでにアイドル出身の有名芸能人の過去の学暴前歴が暴露され、話題になった事件が何回かあったし、アイドル級の人気を得ていた現役選手（最近、双子姉妹のバラエティー出演が多かった）の学暴は、似たような脈絡で発火した。大韓民国で生まれた全ての大衆が直感的に反応した理由だ。今はほとんど見つけるのが難しいが、ほんの少し前まで全ての暴力が行われていた場所が学校だ。映画<友達>の一場面のように担任の先生が学生を無慈悲に殴打する様子が日常だったし、いわゆる‘一陣（イルチン）’学生が同級生をいじめる事も珍しくなかった。

（一陣... 訳注：他の学生を相手に暴力で強要したりするグループ。硬派、ヤンキー、番長、スケバン）
全ての国民が共感できる共通の感覚に触れた触発材がまさに「学暴」という単語だった。



だからといって、スポーツ学暴と命名された今回の事件を学校暴力という範疇において同一視できない側面があるのは、まさに学校運動部という、大部分の国民が経験できなかった閉鎖的で特殊な集団文化であるためだ。一般学生が経験する暴力の頻度と学生選手が経験する暴力の頻度ではかなりの差がある。組織の閉鎖的構造により資料の不正確性を勘案しても、おおよそ10倍以上の差異はますます深刻になる。一般大学生の暴力経験

比率は入学と同時に急激に落ちるのに比べ、大学運動部学生選手の暴力経験比率はかえって増大する。大学入学とともに「もう成人として扱われるだろう」という新米選手の期待は入学前の冬季キャンプで散々に消える。似たような暴力のしきたりが実業チームでも続く。昨年7月、全国民を震撼させた故崔スクジョン選手が暴露した惨状は皆立派な大人の間で起きたことだ。これを学暴に分類することはできない。むしろスポーツ暴力は学暴を越えた一貫性と持続性を見せている。スポーツ学暴という新造語がスポーツ界で広がる暴力を包含するには全く不十分である理由だ。

大衆は運動部という組織の中でどんな凄まじい事が起きているかを薄々知っていたが正確には分からなかった。実際にその凄まじい事を体験した者がほとんど口を閉ざしてきた為だ。時々出てくる被害者たちの鋭い悲鳴を努めて無視しながら大韓民国のエリートスポーツはこれまで半世紀以上運営されてきた。今でも出てくる被害者の声を幸いと思わなければならないのか？

「分別の無かった時代の何気ない行動」

実際に双子姉妹バレーボール選手事件の初期報道で出た、今回の事案についての一部体育界の反応だ。ずいぶん前にしでかした事を理由に選手生命を閉ざすのはあまりに過ぎるのではないかという話しだ。当時、非難一色で沸き立っていた報道を考えると無謀なほど勇敢な発言だ。そんな気持ちがあってもまず言葉飲み込むのだが、そのまま出てしまったし、このように本音を吐いたせいで、心の奥にしまっておいた話を世の中にさらけ出した被害者たちの心が再び痛めつけられた。

もっと大きな問題は、似たような思いを胸の中に抱いているが口外せずにいる人々だ。少し叩いてこそ限界を乗り越えることができると、そうしてこそメダルも取り国威宣揚できると覇気に満ちた、しかし沈黙する卑怯な「覇気」論者たちがいる。いまだに競技場でそんな指導者を度々目にする。かっかど大声で

叫び競技中の選手に怒鳴り飛び跳ねる熱血指導者は過去に実際に手を出した（あるいは棒を振り回した）「覇気」論者たちの末裔だ。そのように学びそのようにするにはそうするしか教えられない悲しい現実。目の前の勝利のため、停滞した記録を引き上げる為に指導者ができることだと言っては叫んだり、脅かしたりする以外は他の方法が無いと信じる彼ら。こんな環境で運動を学んだ選手が指導者になった時に最も簡単な方法が学んだことをそのまま従ってすることだ。今でもこの方法で選手を指導する人は怠け者の指導者だ。他のやり方でもいくらでも、例えば科学的な方法で選手の人権を尊重して指導することもできるのに、以前のやり方を繰り返す怠け者。怠けた「覇気」論者は直ちに廃棄されるべきだと考える。



体罰と暴力の最も大きい弊害は一人の人間の尊厳を毀損するところにある。仮にこれによって一時的な競技力向上をもたらしたとしても被害者にとっては半永久的に心の傷が残る。叩かれる行為自体が自分の尊厳を毀損する事なので「僕は何故こんな暴力で屈服する人間なのか？」という自己恥辱感が生まれ、暴力が繰り返されると本能的に心理的恐怖と委縮がついてくる。身体についた傷は時間が経てば消えるが心に刻まれた傷あとはそのまま残る。回復する可能性がない侮蔑感の形で。彼ら

は大好きだったスポーツ界を離れ、二度と戻ってこない選択をする。

その時は正しく今は間違い？

2015年に上映された映画の題目をパロディにしてみた。（訳注：韓国映画「今は正しくあの時は間違い」ロカルノ国際映画祭金豹賞受賞）このような二分法で現在を收拾しようとする部類もいる。その時は正しく今は違うって？その時は叩いても別に問題が無かった時代であり、今は時代が変わったから叩いてはいけないという話なのか？驚くことに体育界でそれなりに合理的だという方々がこんな態度を見せる。果たしてそうなのか？その時は殴られても大丈夫だったのか？果たして正しい事だったのか？映画の題目のように表現すると、その時も間違い今も間違いだ。その時も叩かれたらいけないし今も叩かれたらいけない事だ。一言付け加えると、その時も正しかったが今も正しい。身体的、言語的暴力はエリートスポーツで今も変わらない。以前と比較してとても良くなったという話しは半分の真実だ。目で見える頻度は減っても手法と強度はさらに巧妙になり悪らつになった。

人の世に殴られることなど無い。もちろん暴力はこの社会のどこでも存在する。エリートスポーツという特殊な文化が少しその頻度と強度を増幅させただけだ。問題の核心は暴力が何故広がったのかより（既にこれについての分析は満ち溢れている）、暴力が広がったのちに何故被害者が口を閉ざしたのかにある（実はこの理由もよくわかっている）。他の分野のように暴力が広がったときに適切な措置と処罰があったら10年、20年が過ぎてから苦しげに口を開く被害者がいなかったかも知れない。今、社会に知られる多様な形態のスポーツ暴力はかなり前の事だ。エリートスポーツ界を離れた人が長い間、傷口を握りしめていて今声を上げたものだ。現役バレーボール選手Aの例外的な事例を除いて声を上げた被害者は皆「前職」選手でもある。もう一度言うと、「前職」になってこそ言えるのが現実だ。被害者が被害を受けた時、すぐに問題を提起してこれを話せる構造を作らなければならない。スポーツ界の暴力根絶という遠い目標はおそらくさらに多くの暴露がされた後に実現するものだ。今日の暴露は未来の暴力を止める崇高な行為だ。

スポーツ暴力の終末、どのように？

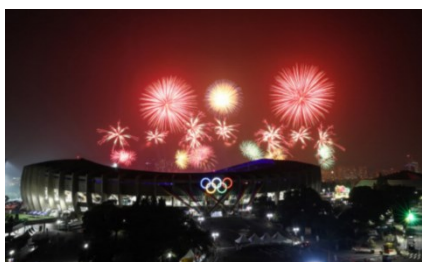
スポーツ暴力をこの地から根絶するには一体何をしなければならないか？この話に戻ろう。それで何をどのようにすればスポーツ界から暴力を永遠に無くせるか？結論から言うと今のようなエリート選手養成システム（例えば体育特长生制度、国家主導のエリート成果体制など）が存在する大韓民国のスポーツ暴力は永遠に根絶されない。いくら強力な処罰を下して監視をし、暴力の根はあちこちに散らばっていて陰湿な影で毒キノコのように育つようになっている。現在行われているエリート選手養成システムは早々に選手を一般学生から孤立させる方式で進められる。成績を出せば大学に行きオリンピックにでも出てメダルをとれば国から一生年金を受ける。このような方式のエリート選手養成システムと断固とした決別宣言をする時だ。

韓国だけの話ではない。長いこと幼い体操選手にセクハラをして175年の刑を宣告された米国のラリーナッサーはテキサスの人里離れた牧場に作られた国家代表体操選手養成所で犯行を犯した。体操協会はオリンピックメダルに血まなこになり（某企業のスポンサーをひきつけておく必要があった）、コマネチを育てたルーマニア出身カロリー夫婦を迎え入れ、孤立された牧場で幼い選手たちを酷使した。廃棄されて然るべき「覇気」論者だったカロリー夫婦は幼い選手を過酷に扱い身体暴力は茶飯事だった。多く聞かれた話ではないか？このような構造からはどこであっても毒キノコが育つようになる。怪物を除去することも重要だが怪物が育ったシステムを変えることがもっと根源的な解決策だ。

出典：[https://www.sports.re.kr/flexer/index.jsp?FileDir=/upload/site/www/plugin/board/50/202103/&SystemFileName=202103251348000100.pdf&ftype=pdf&FileName=%EC%8A%A4%ED%8F%AC%EC%B8%A0%20%ED%98%84%EC%95%88%EA%B3%BC%20%EC%A7%84%EB%8B%A8%2020%ED%98%B8-%EC%97%85%EB%A1%9C%EB%93%9C\(210325\).pdf](https://www.sports.re.kr/flexer/index.jsp?FileDir=/upload/site/www/plugin/board/50/202103/&SystemFileName=202103251348000100.pdf&ftype=pdf&FileName=%EC%8A%A4%ED%8F%AC%EC%B8%A0%20%ED%98%84%EC%95%88%EA%B3%BC%20%EC%A7%84%EB%8B%A8%2020%ED%98%B8-%EC%97%85%EB%A1%9C%EB%93%9C(210325).pdf)

03 スポーツ京郷 2021.04.04

少年体育典、国体... 種目別開催に変えよう



しばらく前に大韓体育会は5月に予定されていた第50回全国少年体育大会（少年体育典）を種目別兼任大会に置き換え運営すると発表した。種目別全国大会のうち比重が大きな大会を少年体育典として兼ねるという意味である。コロナ19で開催地未定による暫定措置だ。少年体育典は前年度の全国体育大会（国体）の開催地で翌年開かれてきた。昨年、亀尾（クミ）国体が中止されたので今年の少年体育典開催地がない。記者は今回の措置を契機に少年体育典、国体開催の構造を修正したらどうかという考えでいくつか提案する。

■小学校体育大会、中等体育大会にそれぞれ分離しよう：今の少年体育典では初等部（13歳以下）、中等部（16歳以下）が一緒に参加する。もちろん試合は初等部、中等部が区分されて行われる。記者は初等部は基礎運動能力の測定中心に、中等部は種目を中心にさらに強化すべきだと見る。初等部は団体種目、球技選手として出場するには早い時期だ。陸上、水泳、体操などを身につけ、身体のバランスをとり均整のとれた運動能力を強化する時だ。中等体育大会は大人と同様に種目別に行うのが望ましい。中学生は物理的にある程度完成される年齢である。中等部は職業選手の道に続けて挑戦するのか、運動を楽しむ道とするかを決定しなければならない時だ。中等体育大会は多様な進路体験が含まれた学生祝典コンセプトとして開催されるのが良い。

■高等部は今のようにならなければならぬ：スポーツ革新委員会は、高等部を国体から外した後、少年体育典と東ねて小中高学生体育大会を開催しなければならぬと主張する。反対する。高等部は大人級の競技力を備える年齢である。国内の状況を考慮すると高等部なら職業選手の道に入ってみても無理がない。したがって高等部は大学部、一般の部と国体で技量を競わなければならぬ。今国体競技は細部種目では高等部、大学部、一般の部が分離して開催される。種目に応じて部分的に一緒に競争するように変えることも検討してみる価値はある。もちろん、今のようにならなくてもよい。大学、一般の部の先輩は高等部にとって未来の競争者である。将来の競争相手は挑戦意識を鼓吹し強い動機を与える存在だ。

■「種目別体育典」拡大：今のようにならぬ少年体育典、国体を総合大会として開催する利点もある。大型スポーツコンプレックス施設の構築と利用、地域予選を経た名実共に全国大会として持つ重みは、すべての種目を網羅する総合大会が与える象徴性などがそうだ。一方、実効性が低い一回だけの大規模なイベントにとどまっているという指摘も出続けている。

これまで大小の国内外総合大会が開かれるたびに、全国各地では大同小異の大規模スポーツコンプレックスが造成された。大規模コンプレックスはもう建てる必要があまりないほどすでに多い。そしてコロナ19などウイルスの出現、都市人口集中、少子高齢化の推移、個別化・専門化・個人化のトレンドなどを考慮すると、大規模なコンプレックスが必要な時期も過ぎ去った。今は死角地帯に小さな施設を追加で建てたり、既存の大規模な施設をどのように活用したりするかが関心事だ。単発的な大規模イベントの開催は最終的な解決策ではない。種目・地域特殊性を考慮して付加価値を着実に創出することができるアプローチが必要な時だ。

■最終的には「種目中心」だけが生きる道である：記者は種目底辺拡大とインフラの拡充、選手と指導者の育成、種目別スポーツ拠点都市の構築などのために、今後すべての体育行政は種目、種目団体を中心に行われなければならぬと主張する。複数種目を一つにまとめておくと利害関係が複雑になって合意を達成するのは難しい。一方、該当する種目関係者、指導者、選手は種目の発展のためならば大筋合意を成し遂げた後、力を集めるのが比較的容易である。

小学校体育大会、中学体育大会、全国体育大会がすべて「種目別」で開催されればどのような効果があるか。最終的に種目別に様々な特性を持つスポーツ拠点都市が多く構築されるだろう。拠点都市はチームが多い自治体を中心に選定すればよい。サッカーのようにチームが全国に均等に多く分布しているとか、チーム数が少なくともある程度のグループをなして集まっている場合には、移動距離などを考慮して拠点都市を複数指定すればよい。もし拠点都市で種目大会が続く開催であれば、種目選手、指導者、関係者、家族など着実にそこを求めよう。種目別のインフラを拠点都市に集中的に拡充する訓練・大会の環境も良くなるに違いない。成人チーム関係者、該当種目の融複合スポーツ産業界、該当種目の外国チームもそこを求めよう。これにより種目も生き、産業も生き、地域住民も生きる真のスポーツ拠点都市の姿である。

出典：http://sports.khan.co.kr/sports/sk_index.html?art_id=202104040810003&sec_id=530101&pt=nv

04 KBS NEWS 2021.03.30

「アイスホッケー協会長承認拒否」崔チョルウォン当選者、大韓体育会に法的対応



いわゆる殴り代暴行騒ぎ（訳注：雇用継続を訴えた運転士を事務室に呼び出して金属バットで13回殴り、殴られた代価として2000万ウォンを受け取るという覚書きを書かせた）により大韓アイスホッケー協会会長承認が拒否された崔 Chol-won 氏が大韓体育会を相手に法廷対応に出ました。

崔 Chol-won 氏側は最近の体育会を相手に会長職承認拒否決定に対する効力停止仮処分申請をはじめとする訴訟を提起したと KBS に明らかにしました。

これに対して大韓体育会の関係者は「一週間前から法的対応をするという噂が広まったが、まだ法務チームで受付されていない」とし「訴状が公式に受付されれば内容を確認し、適切な対応をする」と明らかにしました。

崔 Chol-won 氏は昨年12月、大韓アイスホッケー次期会長に当選しましたが、大韓体育会は先月、崔氏が過去の殴り代暴行暴行疑惑を受けるなど「社会的物議」を起こしたという理由で崔当選者の会長承認を最終的に拒否しました。

一方、会長空席が続くに従ってアイスホッケー協会が管理団体として指定される可能性も高くなりました。

大韓体育会定款では60日以上の子員団体長の空席が続く場合は、その団体を管理団体として指定できるとされています。

アイスホッケー協会の場合、4月17日までは会長を選出すれば管理団体の指定を避けることができます。

出典：<http://news.kbs.co.kr/news/view.do?ncd=5150940&ref=A>

05 スポーツ朝鮮 2021.04.01

「生活体育活性化！」大韓体育会、1日から公共スポーツクラブ公開募集

大韓体育会（会長李ギフン）が生活体育活性化のために1日（木）から新規に公共スポーツクラブを公開募集する。

公募で選ばれた公共スポーツクラブは法人設立の基本財産をはじめとする事業費や人件費などの支援を受け、総合型（大都市型：5種目、中小都市型：3種目）、学校連携型（1種目）のうち該当するタイプに合わせて申請する。

大韓体育会は大都市型（人口20万人以上）13ヶ所、中小都市型（人口20万人未満）4ヶ所、学校連携型（1種目）36ヶ所の計53ヶ所の新規クラブを選定する予定で、選定された団体は最大5年間、大都市型9億ウォン、中小都市型6億ウォン、学校連携型（1種目）4億ウォンを支援される。公募の詳細については大韓体育会のホームページ「お知らせ」メニューから確認できる。

一方、公共スポーツクラブ公募事業は地域中心の生活体育底辺を拡大し、専門選手の発掘、引退選手など体育人雇用創出のため大韓体育会が2013年から推進している力点事業で、現在、全国169（大都市型66、中小都市型45、学校連携型58）の公共スポーツクラブが運営中だ。

出典：<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202104010100011540000412&servicedate=20210401>

06 聯合ニュース 2021.03.30

ファン・ヒ文体部長官、スポーツ倫理センターに支援を約束



ファン・ヒ文化体育観光部（文体部）長官は30日、ソウル西大門区スポーツ倫理センターを訪問し理事長辞任と対内的な指摘などについて従業員の意見を聞いた。

ファン・ヒ長官はこの席で▲調査人員の補強など組織力の強化▲調査と対策、教育と調整につながる組織の有機的機能の強化▲段階的な予算と人材の拡充などの支援策を職員に説明した。

スポーツ倫理センターの職員は調査人材補充と調査業務過程の改善などを提案した。

スポーツ倫理センターは昨年8月に体育人権保護とスポーツ不正根絶のために発足した専門機構だ。

文体部スポーツ不正申告センター、大韓体育会クリーンスポーツセンター、大韓障害者体育会体育人支援センターの申告機能を統合してスポーツ界の人権侵害申告を一元化した。これまでしっかりと役割を果たせていないとの指摘を受けていた。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20210330132200007?input=1195m>

07 ニュー시스 2021.04.01

28カ国の留学生122人、韓国で冬季スポーツの夢広げる



文化体育観光部は「2021 ドリームプログラムが28カ国の参加者122人を確定し、1日から本格的に始まる」と発表した。

2018平昌冬季オリンピックとパラリンピックをきっかけに冬季スポーツの底辺を拡大するために2004年から推進したドリームプログラムは、冬のスポーツに接しにくい国の若者たちを国内に招待し冬季スポーツと韓国文化

体験の機会を提供する公的開発援助一環のスポーツ発展支援事業である。

16年間に85カ国2147人が参加し、このうち93人が冬季オリンピックをはじめとする各種国際大会で活躍する成果を出した。

4月に開催される今年のドリームプログラムは文体部と江原道が主催し、2018平昌記念財団が主管する。特にコロナ19に対応して冬季スポーツに接しにくい東南アジア、中南米、アフリカなどの若者を国内に招請する代わりに、国内に居住している該当国の留学生を招いてプログラムを進行する方式に変更した。

また、先月27日に開かれたオンライン案内教育（オリエンテーション）を皮切りに、1日から5月23日まで非対面事前プログラムを追加して進行する。

冬季スポーツを組み合わせた家でのスポーツ、K-POPダンス、歌、テコンドーなど、様々な分野の非対面講習で既存の冬季スポーツ体験だけでなく、国内の留学生のニーズに合った韓流文化プログラムを強化した。

参加者は5月24日から30日まで平昌五輪開催地である平昌と江陵一帯でコロナ19防疫指針を徹底的に遵守したなかで冬季スポーツ体験、韓流文化講習、江原道探訪とオリンピック施設見学、競演大会など多彩なイベントを楽しむ予定である。

文体部政策担当者は「冬季スポーツに接しにくい国の若者が2021ドリームプログラムを通じて平昌オリンピックが残した平和と共存の価値を共有し、新しいスポーツや韓国文化を学ぶことができることを願う」と述べた。

出典：https://newsis.com/view/?id=NISX20210401_0001391495

08 週間スポーツ関連ニュース

大韓体育会、全国180の小・中・高「運動部」用品支援学校を募集

<https://sports.chosun.com/news/ntype.htm?id=202104010100011590000413&servicedate=20210401>

【コロナが変えた大韓民国】⑤観客なしでもスポーツ競技は継続される

<https://www.ajunews.com/view/20210401172255745>

長興郡、「正南津総合スポーツタウン」造成敷地最終確定

<http://www.gukjenews.com/news/articleView.html?idxno=2193918>

国民体育振興公団、大邱体育会とスポーツ産業の発展のために協力

<https://star.mt.co.kr/stview.php?no=2021040413121685628>

スポーツTOTOの職員が8億ウォンくじ偽造し、パクリ」

<https://www.mbn.co.kr/news/society/4464935>

規定に違反してスポーツト顧客センター職員3人が賭博

<https://www.mbn.co.kr/news/society/4465953>

「210度XR（仮想現実）でヨガ習って下さい」KTスポーツコーチングスタジオ

<https://www.techm.kr/news/articleView.html?idxno=82109>

板橋に「eスポーツ専用競技場」構想出た...建設に拍車

https://news.sbs.co.kr/news/endPage.do?news_id=N1006266275&plink=ORI&cooper=NAVER

仁川市教育庁、学校運動部のスポーツクラブ運営校現場コンサルティング実施

<http://www.kmaeil.com/news/articleView.html?idxno=273711>

無料受講実施「学校陣」学童保育指導士・家族、スポーツ心理カウンセラーなど75の民間資格」

<http://www.newsrep.co.kr/news/articleView.html?idxno=177440>

ファンの心つかんでブランド知らせ...スポーツマーケティング「始動」

https://newsis.com/view/?id=NISX20210331_0001390069&cID=13001&pID=13000

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

http://www.sportscm.org/index.php?module=Inquiry&action=SiteInquiry&sMode=INSERT_FORM&inquiryNo=2

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳 : 佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com